

核兵器のない平和な世界の実現に向けて

# 私達ができること

1

## 平和首長会議の取組を知る

平和首長会議のウェブサイトでは、平和首長会議の様々な取組や、核兵器や核軍縮の現状などについて紹介していますので、ぜひご覧ください。

平和首長会議ウェブサイト



2

## SNSをフォローする

平和首長会議では、加盟都市の活動や開催予定のイベント情報などをSNSでタイムリーに発信しています。ぜひ、平和首長会議のアカウントをフォローして、取組を拡散してください。

X (旧Twitter)



Facebook



3

## 加盟都市拡大に協力する

核兵器のない平和な世界の実現に向けて加盟都市の拡大に取り組んでいます。未加盟都市への加盟の呼び掛けにご協力をお願いします。

加盟要請資料



4

被爆地で感じたことを周りの人と共有してください。／

## 広島・長崎を訪れる

広島平和記念資料館や長崎原爆資料館を訪れ、被爆の実相を知ってください。

広島平和記念資料館



長崎原爆資料館



# 平和首長会議

*Mayors for Peace*





## 平和首長会議について



会長  
広島市長 松井 一寛

加盟都市数  
166 か国・地域 8,378 都市（2024年4月1日時点）

## 原点

1945年8月、広島・長崎両市は原子爆弾により一瞬にして廃虚と化し、その年の暮れまでに両市合わせて21万人を超える多くの人々の尊い命が奪われました。広島・長崎両市は、生き残った被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という切なる思いを世界の人々に広げ、次の世代にも受け継いでいくために、世界に核兵器の非人道性を訴え、その廃絶を求めてきました。

## 設立

1982年6月、荒木武広島市長は、第2回国連軍縮特別総会において、世界の都市に国境を越えて連帯し、共に核兵器廃絶への道を切り開こうと呼び掛けました。広島・長崎両市は、この呼び掛けに賛同する都市（自治体）で構成する機構として、世界平和連帯都市市長会議（現在の平和首長会議）を設立し、現在、世界の8,300を超える平和都市のネットワークに成長しました。

## 使命

平和首長会議は、被爆者の平和への願いを原点に、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」（略称：PXビジョン）の下、「核兵器のない世界の実現」、「安全で活力のある都市の実現」、「平和文化の振興」を目標に掲げ、世界中の加盟都市と共に、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指した活動を続けています。とりわけ、市民一人一人が日常生活の中で平和について考え行動する「平和文化」を市民社会に根付かせ、平和意識を醸成していく「平和文化の振興」は、市民に最も身近な存在である自治体の首長により構成される平和首長会議が、これから担っていくべき重要な役割であると考えています。

## 活動の歴史

- 1982 ● 平和首長会議の設立
- 1985 ● 第1回総会を広島・長崎両市で開催
- 1991 ● 国連経済社会理事会 (ECOSOC) のNGOに登録
- 1995 ● NPT再検討会議へ初めて代表団を派遣
- 2003 ● 2020ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）の策定  
（目標：2020年までに核兵器禁止条約を締結し、全ての核兵器を廃絶すること）
- 2017 ● 核兵器禁止条約交渉会議へ代表団を派遣
- 2021 ● PXビジョンの策定
- 2022 ● 核兵器禁止条約締約国会議へ初めて代表団を派遣

会長と国連事務次長兼軍縮担当  
上級代表との面会



スピーチをする  
会長



平和首長会議の  
これまでの歩み  
（動画）



核軍縮に関する要請



## 核軍縮に関する要請

- 2017 ● 核兵器禁止条約交渉会議を前にした公開書簡
- 2019 ● NPTに係る共通基盤の形成を求める共同アピール
- 2020 ● NPT締約国や国連関係者に対して核軍縮に向けた建設的な対話を求める共同アピール  
核兵器禁止条約批准国が50か国に達したことについての公開書簡
- 2022 ● ウクライナにおける戦争についての平和首長会議会長メッセージ  
ヒロシマアピール～平和首長会議設立40周年を記念して～  
（第10回平和首長会議総会で採択）
- 2023 ● ウクライナ侵攻から一年が経過するに当たっての平和首長会議共同アピール  
G7広島サミットを前にした公開書簡
- 2024 ● 武力衝突の平和的解決と核兵器廃絶を求める平和首長会議共同アピール

# PXビジョンに基づく 世界恒久平和の実現に向けた 平和首長会議の取組

平和首長会議では、核兵器を廃絶し、世界中の全ての人々が永続的に平和を享受できる「世界恒久平和」を実現するため、活動指針である「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」（略称：PXビジョン）を定め、「核兵器のない世界の実現」、「安全で活力のある都市の実現」、「平和文化の振興」という三つの目標を掲げ、様々な取組を推進しています。

## ① 核兵器のない世界の実現



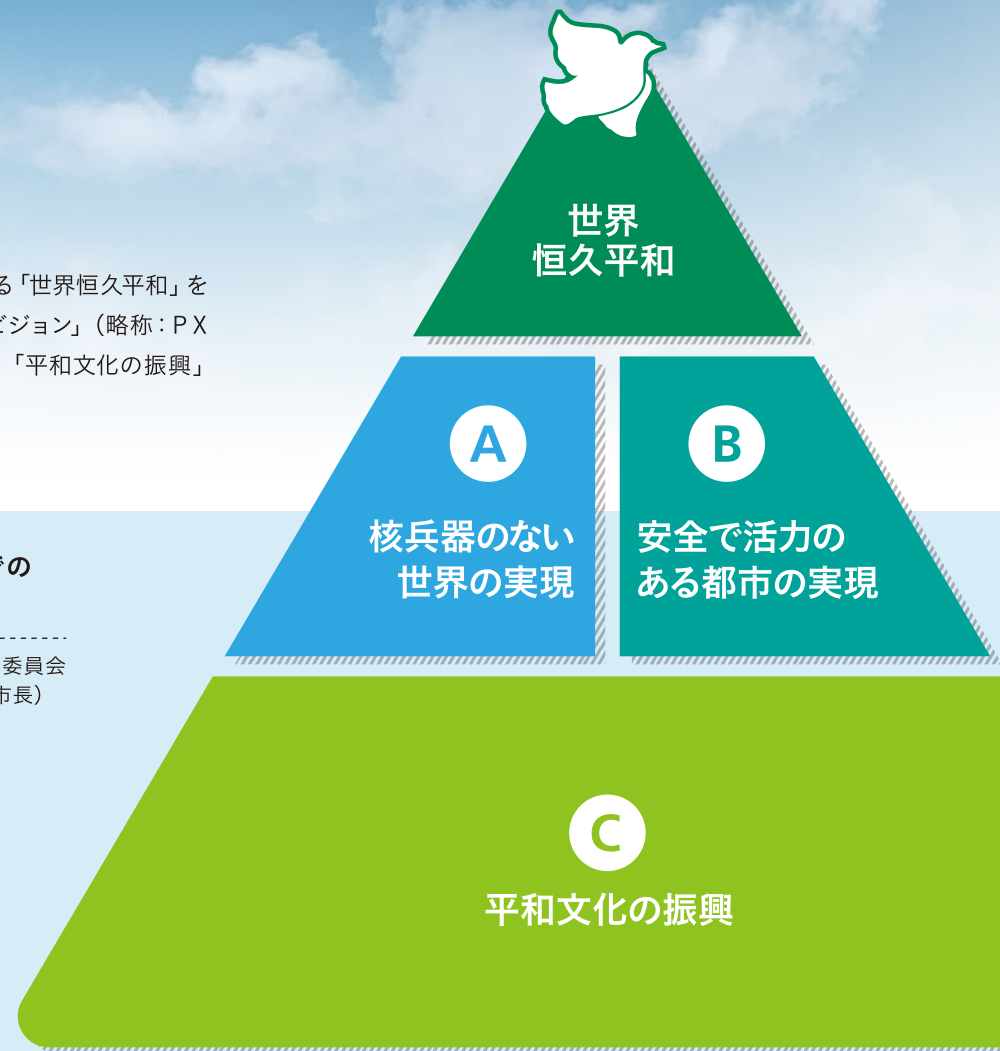
核軍縮に関する国際会議での  
要請活動の展開

第11回NPT再検討会議第1回準備委員会  
でスピーチする会長と副会長（長崎市長）



「核兵器禁止条約」の  
早期締結を求める  
署名活動の展開

署名活動を行う会長と高校生



## ② 安全で活力のある都市の実現

「誰一人取り残さない」まちづくりの推進



多文化共生社会の実現に向けた「共生する市長サミット」（カナダ・モントリオール市）

地域特有の課題の解決に向けた地域会議の開催



フランス支部会議（フランス・マラコフ市）

## ③ 平和文化の振興

被爆樹木の種や二世の苗木の  
配付・育成



加盟都市で育てられている被爆樹木二世  
（米国・デモイン市）

平和首長会議原爆ポスター展の  
開催



加盟都市で開催されたポスター展  
（ドイツ・グライフスヴァルト市）

子どもたちによる“平和なまち”  
絵画コンテストの実施



受賞作品と作者  
（ドイツ・ケムニッツ市）

平和教育ウェビナーの開催



国内外の参加者による平和活動の発表



# 世界に広がる加盟都市

166か国・地域

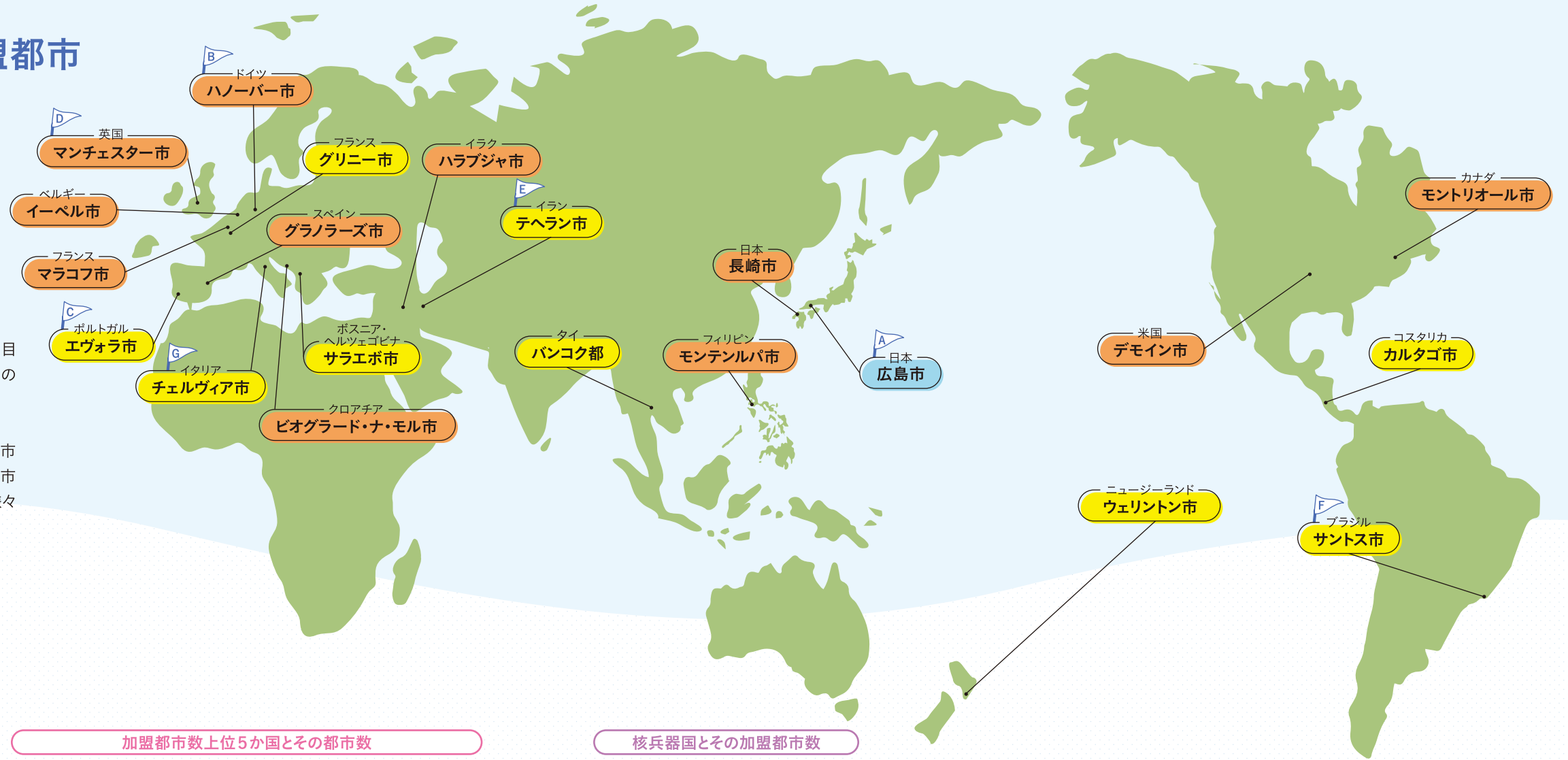
8,378都市

(2024年4月1日現在)

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指す平和首長会議加盟都市の連帯の輪は、世界中で広がっています。

平和首長会議の活動は、会長の広島市や副会長の長崎市を始めとする役員都市が主導しており、世界各地域において様々な取組を推進しています。

- 会長都市
- 副会長都市
- 理事都市



加盟都市数上位5か国とその都市数



核兵器国とその加盟都市数



## 加盟都市の活動

加盟都市の活動



### A 平和文化月間(日本・広島市)

毎年11月を「平和文化月間」と定め、芸術文化活動やスポーツを通じた交流など平和への思いの共有につながる様々なイベントを集中的に実施。

### B ドイツの加盟都市によるフラッグデー(ドイツ・ハノーバー市)

毎年7月8日に、ハノーバー市の呼び掛けにより、ドイツ国内の加盟都市が核兵器廃絶の願いを込めて一斉に平和首長会議の旗を掲揚する取組を実施。



### C ワークショップ「平和は私たちの手で作られる」(ポルトガル・エヴォラ市)

芸術を通じて平和意識の醸成を図るため、地域の伝統工芸を活用し、平和をテーマに陶芸制作を行うワークショップを開催。



### D 青少年のためのピーストレイル(平和の小道)(英国・マンチェスター市)

青少年に平和や相互理解について学んでもらうため、市内の戦没者慰霊碑等を巡る散策コースを作成。

### E 「小さな語り部たち」(イラン・テヘラン市)

化学兵器の攻撃を受けた地区の子どもたち等を対象に、街の歴史をどのように伝えるかを考えるワークショップを開催。



### F ピースラン(ブラジル・サントス市)

スポーツを通じて平和を広めることを目的に、アスリートが市民と共に平和のシンボルとなる灯火を持って市内を走るイベントを開催。



### G オンライン被爆体験講話の聴講(イタリア・チェルヴィア市)

子どもたちに被爆の実相と被爆者の平和への思いを継承するため、市内の小学生がオンラインで被爆体験講話を聴講。